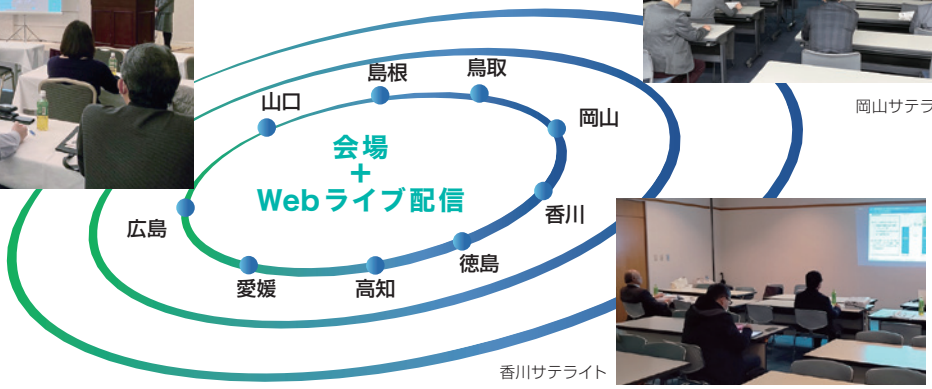
報告 広島県支部「令和6年度 診療報酬改定セミナー」開催

広島現地会場



岡山サテライト

香川サテライト

診療所が同時改定にどのように対応していくか

三原一訓支部長

広島県支部（三原一訓支部長）は3月23日（土）、令和6年度診療報酬改定セミナーを開催した。ASK梓診療報酬研究所所長の中林梓氏を講師に、演題「2024年度診療報酬改定のポイント解説 診療所が同時改定にどのように対応して行くか」を行った。

広島県支部では、毎年3月に医業経営セミナーを開催しており、2022年3月からは広島県支部主催、中国・四国地区各県支部共催で、協会本部のZoomウェビナーライセンス枠を最大限活用して開催している。今回も岡山県支部（黒田善宏支部長）・香川県支部（政木和夫支部長）はサテライト会場をそれぞれ岡山市と高松市に設けて開催し、その他の会員や医業関係者もWebライブ配信で参加した。

ポスト2025を見据えた医療・介護の動向

2024年度は医療・介護・福祉のトリプル改定の年であり、2025年を目指してきた地域包括ケアシステム構築の最終年となり、相互に連携に関する取り組みへの評価が期待できる。2025年を見据え地域包括ケアシステムの深化・推進や医療DXを含めた医療機能の分化・強化、連携の推進は、どのように導かれ、かかりつけ医機能はどのように評価されるのか、生活習慣病への対応も重要な視点と述べ、準備された200枚以上の資料を次々と示しながら明快な言葉でわかりやすく解説、6月施行となった今回の改定だが、逆に早めの対応が求められる、と中林氏は3時間の講演を締めくくった。

講師の中林梓氏

医業現場の理解は良好

広島現地会場へ参加した医業関係者からは「有床診療所の内容、クリニック外来の内容がとても細かく説明されて大変参考になった。」「人材確保に働き方改革と賃上げの関係が良く理解できた。」無床診療所で電子カルテをまだ導入していないという理事長からは「医療DXの推進と体制整備が今後は不可欠になると良く分かった。」と、多くの参加者から講演について『非常に参考になった』と評価があったことを報告する。

（本部広報委員 / 広島県支部 副支部長　藤井 康彦）